

# 近代日本と李完用の虚実

極端の時代、合理性に捕獲された近代的人間

招聘講師 金允嬉(キム・ユンヒ)

韓国 高麗大学校 韓国史研究所 教授

李完用は、従来の評価のように貪欲な人物でも、近代的な主権概念を受け入れなかった、伝統的な官僚でもなかった。むしろ「合理的」な近代人だった。帝国主義の暴力に対する怒りより、自分自身を含めた多数の利点のために絶対憤らない理性的な人間だった。また、危機の前で新しい秩序を模索するより、現在を直視する現実的な人間だった。それが李完用の限界であった。

日時:2017年2月16日(木)午後3時  
場所:国際研究館 4階 共同2